

令和2年度  
北大フロンティア基金  
活動報告書

Hokkaido University Frontier Foundation  
Annual Report 2020



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY



## 「比類なき大学」と 新しい寄附文化醸成への ご協力をお願い

北海道大学総長 寶金清博

日頃より、多くの皆様から浄財をお寄せいただき、北海道大学を代表し、心から御礼申し上げます。  
この報告書では、令和2年度の北大フロンティア基金による活動をご紹介しますので、ぜひ、ご一読いただければ幸いです。

平成18年度に創設した本基金へのご寄附は、令和2年度に3億6,700万円、また、これまでの累計額は、54億円に達しております。コロナ禍でご寄附への影響を憂慮しておりましたが、おかげ様で、多くの皆様から、例年と変わらぬご寄附を賜り、感謝申し上げます。

そうしたご寄附から、令和2年度は、この報告書でご紹介していますように、コロナ禍で経済状況が悪化している学生への支援を実施いたしました。

本学は、5年後の令和8（2026）年に創基150周年を迎えます。記念の年に向けて、改めて北海道大学の歴史とその使命を振り返り、本学が、他に類を見ない「比類なき大学」であることを再認識しているところであります。その詳細はここで申し上げませんが、端的に言えば、その歴史と地誌的位置において、国内外の大学の中でも、極めて独自性が高いものです。

一方で、国立大学法人全体の課題でもありますが、教育・研究の発展のためには、財務的基盤を強化し、カーボンニュートラル、SDGsの実現、地域への貢献のために、新しい教育・研究・社会連携事業を興していく必要があります。ご存知のように、国立大学は、平成16（2004）年に法人化した後、財務基盤となる国からの運営費交付金が十分といえない状況にあります。その中で国は、大学に対して多くの規制緩和により、さまざまな財政強化のためのフリーハンドを提供しました。とりわけ、皆様の純粋なお志で成り立っている「寄附」は、そうした財務強化の大きな支えです。

寄附の基盤は、当然、無償のドネーションの精神であることに変わりありません。これに加えて、北海道大学は、社会連携、新事業創出のための新しい寄附体制、寄附文化の醸成を目指しています。

寄附文化を大きく発展させるため、すでにこの報告書でも詳細を説明しているさまざまな寄附メニューの充実に加え、寄附者の皆様への謝意の充実を考えております。そして現在、新執行部の体制下で各種会議体や150周年記念事業推進委員会での検討と協同して、投資的な基金の仕組み、ベンチャー育成のための基金（ベンチャーキャピタル）、大学債などについても、慎重な検討を進めています。これらについては、近い機会に改めてお伝えしたいと存じます。

無償の精神による寄附は、個人・団体が実現できる社会貢献の重要な手段です。その志に応えることは私たちの責務と考えます。私たちは、寄附の多寡、型式にかかわらず、皆様のその志を活かして、クラーク博士の「Be Ambitious」の精神で社会貢献に取り組んでまいります。

今後とも、本学への変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

## 奨学金給付事業 （新渡戸カレッジ支援・学部等支援）

### » 新渡戸カレッジ支援

新渡戸カレッジオナースプログラム大学院教育コースの履修を許可された学生の高度な専門性とそれを活用する能力の一層の育成を奨励することを目的とした、返済義務のない給付型奨学金を支給させていただきました。

### 感謝の声

新渡戸カレッジオナースプログラム大学院教育コースの奨学金にご寄附いただき、誠にありがとうございます。奨学金の支給によりアルバイトの時間を減らすことができ、新渡戸カレッジの授業や農学院での授業、研究に集中して取り組むことができました。研究では本年度からテーマを変更したため、実験系を確立するために様々な器具や材料を試す必要があり、それらの購入に奨学金を使用いたしました。そのおかげで自分の理想とする実験ができ、研究の成果を出すことができる見込みです。また、新渡戸カレッジでは素敵な先生や仲間に出会い、様々な経験をすることができました。このような機会をいただき、心から感謝申し上げます。 岡庭 理央



I would thank frontier foundation sponsors for supporting international student with scholarship. The amount of money is very motivating. It helped me not only with the research activities but also enhanced my confidence. DENGRI, Abhinav



### » 北大・日立協働教育研究支援プログラム

令和2年度より、博士課程の学生を対象とした総額最大1.4億円規模の給付型奨学金を支給する研究支援プログラム「北大・日立協働教育研究支援プログラム」を開始しました。

本プログラムは、博士課程に在学する最大9人の学生を対象に、令和2年度から3年間で一人当たり年間520万円を支給します。このうち、日立製作所から北大フロンティア基金へのご寄附を元に400万円の研究費と学生の生活費を、北大からは120万円の研究費を支給し、3年間の支給総額は最大1.4億円規模となります。また、支援対象の研究テーマには環境技術も含まれ、本プログラムの実施を通じて、世界が直面する環境課題の解決にも貢献していきます。



### » 環境科学院 優秀学生海外学会派遣支援プログラム

環境科学同窓会では、大学院環境科学院に在籍する優秀な博士及び修士課程大学院生を対象に、海外での研究成果発表を促進・支援するため、日本国外で学会発表等を行う学生を対象に参加に係る費用を支援しています。

### 感謝の声

2020年度優秀学生海外学会派遣支援プログラムに採択いただき、ヨーロッパ地球惑星科学連合2020年大会（EGU General Assembly 2020）に参加しました。本学会は新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催となり、web上でのプレゼンテーション資料の公開とチャットでの質疑応答が行われました。参加セッション「Mid-latitude Cyclones and Storms: Diagnostics of Observed and Future Trends, and related Impacts」は中緯度の低気圧に関連した研究を対象としており、私は北海道西岸沖に発生する小低気圧に対する大陸の地形の影響について発表しました。今回はコンピーナーの提案により発表者一人当たり5分の持ち時間が与えられ、チャットにより研究概要の説明と質疑応答を行う形式となりました。短い時間ではありましたが、活発な議論に参加できたことは貴重な経験となりました。最後になりますが、選出いただいた環境科学同窓会の皆様に深く感謝申し上げます。 田村 健太

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 緊急支援

北大フロンティア基金では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い経済的に不安を抱える学生をサポートするため、令和2年5月より「修学支援基金」へのご寄附を募り、これまでに多大なご支援を賜りました。いただきました寄附金は、「令和2年度北海道大学 緊急修学支援金」として学生へ支給させていただきました。改めて心よりお礼申し上げます。

### ▶▶ 申込報告 (令和3年3月31日現在)

申込件数 **922** 件  
寄附金額 **60,340,000** 円

#### ■内訳

寄附者属性	件数 (件)	金額 (円)
卒業生	669	35,177,000
教職員	149	7,757,000
元教職員	31	3,550,000
学生保護者	15	875,000
その他の支援者	40	6,661,000
法人・団体	18	6,320,000
総計	922	60,340,000

### ▶▶ 活用報告

令和2年6月に、「令和2年度北海道大学 緊急修学支援金」として、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い生活が困窮している本学の正規学生（学部学生・大学院生・留学生）へ返済不要の修学支援金を支給いたしました。

#### ■内訳

受給者属性	件数 (名)	金額 (円)
10万円給付	1,427	142,700,000
5万円給付	1,109	55,450,000
総計	2,536	198,150,000

※不足分については、これまでに寄附頂きました「修学支援基金（北大みらい投資プログラムの給付型奨学金を含む）」及び、用途を特定しない一般資金へのご寄附や運用利息から充当させていただきました。

## 感謝の声

大金を本当にありがとうございました。コロナの影響で親の年収が著しく減って、バイトもあまり無く、家賃や生活費の支払いが厳しくなり困窮している上に、今年4月に始めて札幌に一人に来て、生活しているという孤独さで、気が非常に滅入っている中でした。このお金を精一杯、必要なことに役に立てて、成績面だけでなく、これからの社会に恩返ししたいと考えます。 法学部1年

皆様のご支援、大変感謝しております。私は来年に国家試験を受ける予定で、それにあって教材を購入したいと思っていました。しかし、コロナによるバイト代の減収で教材を買えずにいて、さらには食費を削るような状態でした。そのような中での今回のご支援は誠にありがたく思います。今回いただいた修学支援金は教材の購入および食費にあてさせていただきます。皆様のご支援を無駄にしないよう、よりいっそう勉学に励んで参ります。本当にありがとうございました。 医学部医学科5年

互いがともに厳しい状況の中、支援して下さった皆様に心より感謝いたします。学生生活を諦めることなく続けられることをとてもうれしく思っております。この経験を糧に将来自分は人に手を差し伸べられる大人になると強く感じました。この度は本当にありがとうございました。 理学院修士課程1年

この度は私たち学生のためにご寄付くださり、本当にありがとうございます。このように学業に専念できるよう支援下さる方々がいらっしゃるのには大変ありがたく、自分は研究成果として社会に少しでも還元できるよう努めていきたいと思っております。 保健科学院博士課程3年

ご寄附をしてくださった方々へ。皆様の御好意のおかげで、北海道大学という素晴らしい大学での教育が続けられる事を感謝しています。今回ご寄附をしてくださった方々が「支援してよかった」と思えるよう、この恩を忘れずに一層勉学に励んでいきたいと思っております。改めて、この度はありがとうございました。 現代日本学プログラム2年

## 北大病院新型コロナウイルス安全安心基金

令和2年7月に本基金を設置して以来、令和3年3月末現在：65件 5,296,000円のご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。お寄せいただいた寄附金は、院内各所への消毒液の設置や、医療従事者が使用するマスクやガウン等の防護具、外来診療スペースへの紫外線殺菌機の導入などに活用させていただいております。消毒液やマスクの値上がりが続く中、皆様からのご支援により十分な量の感染対策用品を準備することができました。重ねてお礼申し上げます。



## 三井住友信託銀行 「新型コロナ ワクチン・治療薬開発寄付口座」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、三井住友信託銀行が社会貢献の一環として、個人等からのご寄附を取りまとめ、ワクチンや治療薬の開発に取り組む大学などを応援する「新型コロナ ワクチン・治療薬開発寄付口座」を開設しました。本学も、応援先大学の一つとして選定され、三井住友信託銀行からのご寄附1,000万円に加え、多くの皆様から、合計291件 2,687,975円のご寄附を賜りました。

頂きましたご寄附は、新型コロナウイルス感染症に関する研究を行っている4つの研究室で有効に活用させていただきます。

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する研究成果

**北大の強み・特色ある研究実績を生かし、国内外の感染症対策に対する研究を実施**

**厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部への貢献**

医学研究院西浦博教授が率いる理論疫学研究グループが参画  
厚生労働省が新型コロナウイルスの感染の流行を早期に終息させるために、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生の早期探知、専門家チームの派遣、データの取集分析と対応策の検討などを行っていったため、国内の感染症の専門家の方々で構成される「クラスター対策班」を、2月25日に立ち上げた。クラスター対策班のデータ解析チームとして、本学医学研究院西浦博教授が率いる理論疫学研究グループが参画し、新型コロナウイルスの終息に向けて、日々貢献を行っている。

**新型コロナウイルス株を使用した創薬研究**

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターと塩野義製薬株式会社との共同研究の中で、新型コロナウイルス株を使用した創薬研究を開始している。塩野義製薬株式会社の抗ウイルス化合物ライブラリーを用いた in vitro 試験にて、新型コロナウイルス株に対する有望な化合物群を確認した。2020年度内の臨床試験開始を目指して創薬を加速するとともに、長期に亘る流行や将来のパンデミックに備えて継続的に取り組んでいる。

**唾液による新型コロナウイルスのPCR検査を実現**

唾液で新型コロナウイルスのPCR検査、北大病院で精度評価を実施  
高津製作所は、4月20日に発売した「新型コロナウイルス検出キット」を用いて、従来の鼻咽喉拭い液ではなく、唾液でのPCR検査の精度を調べたところ、鼻咽喉拭い液と遜色ない結果を得ることができた。唾液による検査については日本医師会より提案され、実際の精度評価は北海道大学血液内科・検査輸血部豊嶋教授を中心に実施した。北海道大学病院では、入院患者の手術時に新型コロナウイルス感染症の罹患の有無を調べるスクリーニング検査で試験的に採用する。

**抗体検査を20分以内で完了する技術を開発**

総合化学院西山氏、工学研究院渡邊次教授らの研究グループが開発  
簡単なピペット操作のみで20分以内に抗体を検出できる上、多サンプルの同時測定することが可能なポータブル蛍光偏光測定装置及び検査に必要な特殊な試薬を開発し、鳥インフルエンザウイルス抗体の検出に成功した。同装置は、新型コロナウイルス感染者の抗体検査にも応用できる上に持ち運びも可能なため、検査現場での有力な技術になることが期待される。

※所属は令和2年度当時のもの

### ご寄附のお願い

令和3年9月現在もなお、感染者の推移について厳しい状況が続いております。皆様におかれましても、種々ご負担の生じているところのお願いとなり大変恐縮ですが、本学同窓生をはじめ、日頃北海道大学を応援いただいております皆様に、更なるご支援を賜りますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。ご寄附の方法については13ページをご参照ください。

## パイプオルガン修繕事業

令和3年3月に、クラーク会館の講堂に設置されているパイプオルガンの修理を実施しました。

修理は、公益財団法人杉野目記念会（理事長：杉野目浩本学名誉教授）からのご寄附により実現したもので、（株）マナオルゲルパウ（東京都町田市）に依頼し、同社のマイスターである松崎譲二さん、中里威さんが中心となって、往事の音色を取り戻すことが出来ました。

本学のパイプオルガンは、創立80周年記念事業として、杉野目晴貞元学長の「これからの総合大学は学問の場であると同時に教養文化人として芸術を愛する者を育てる場所であるべき」との理念のもと、西ドイツ（当時）ボン市のパイプオルガンメーカーであるヨハネスクライスオルガン製作合資会社に発注され、昭和41年、国立大学初の課外活動施設でもある本学クラーク会館の講堂に設置されました。

設置に当たっては、西ドイツから同社のオルガン技師が来日し、日本人技師と共に行ったと伝わっており、その当手を忍ばせるものがオルガンの内部に今も残っています。

国立大学法人でパイプオルガンを保有しているのは、芸術系大学を除くと、本学の他には東京大学のみであり、残念ながら昨今のコロナ禍により、現在コンサート等は行われていませんが、過去には本学の主催で世界的な演奏家を招き演奏会を実施していました。

なお、今回の修理がきっかけとなり、杉野目晴貞元学長の遺品の中から、パイプオルガンに纏わる品が発見され、ご子息の杉野目浩名誉教授から本学文書館に寄贈されました。



オルガン・マイスターによる修理作業



西ドイツのヨハネス・クライス社から記念に贈られた飾りパイプ（本学文書館所蔵）

## 無意根小屋修繕事業

「無意根小屋（無意根尻小屋）」は、昭和6年（1931年）札幌市南区定山溪に大野精七スキー部長により建てられ、北大体育会山スキー部、山とスキーの会をはじめ多くの方々に愛され続けている山小屋です。

令和3年5月の「無意根小屋90周年記念事業」として、無意根小屋のさらなる長寿命化を図るため、大改修工事が行われました。改修工事は、平成30年9月から実施した現況調査等の結果をもとに、令和元年6月から令和2年6月の期間で実施され、

実際の作業には、業者のほか、北大体育会山スキー部および山とスキーの会の現役学生・OB達が従事するなど、心のこもった改修工事となりました。



## 》 其他実施事業

### ● 全学教育科目の実施（学部等支援・工学部）

工学部は全学教養科目として「論理的思考を「囲碁」で養い人工知能との対戦を体感してみよう」を開講しました。受講生は、近年発達が著しい人工知能（AI）による囲碁ソフトとの対戦を通して、人間による思考に対し人工知能がどのようなものであるかを学びました。この授業を実施するにあたり、本学卒業生に限らず囲碁愛好家の方々から広く賜りましたご寄附を活用し、囲碁ソフトやPCの購入、講師として棋士を招聘いたしました。



### ● 学内環境の整備（学部等支援・総合博物館）

本学総合博物館は、構内にある無料の博物館です。札幌農学校の開校以来140年に渡る研究成果として生み出された学術標本を良好な状態で集約・管理し、学内外に情報を発信することを目的としており、年間5万人が訪れる観光名所となっています。令和2年度は、来館される皆様へ感謝を込めて、博物館中庭の環境整備を行いました。



### ● 課外活動備品の整備（学生支援）

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、課外活動も一部または全面禁止が続いておりますが、公認学生団体の活動をささえるため、備品の購入を行いました。

- 馬具・左官砂
- トランペット
- 硬式野球用試合球
- 携帯用コンロ
- 相撲用まわし
- 平太鼓
- ラグビーボール
- テント
- ソプラノサクソ
- 軟式野球バット
- シュラフ
- 登山用ロープ 他



### ● 院内学級の整備（学部等支援・北大病院）

北大病院内に設置されている院内学級「ひまわり分校」の備品を購入し、長期入院となる小児患者の療養・教育環境の整備を行いました。



### ● 上記のほか、以下のような事業を実施しました。

- 北海道大学クラーク賞
- 新渡戸稲造農学賞
- 新渡戸カレッジ海外留学奨学金
- 私費外国人留学生奨学金（水産学部）
- 新型コロナウイルスに対する治療薬の創製
- 保育環境整備事業 など

# 北大フロンティア基金 令和2年度の概要

北大フロンティア基金は、大学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動を行うこととしています。

北大フロンティア基金創設時からの累計

受入報告 令和2年度

申込件数 **29,365** 件  
寄附金額 **5,597,670,392** 円  
(うち運用利息 157,433,817 円)

申込件数 **3,299** 件  
寄附金額 **400,992,211** 円  
(うち運用利息 33,896,952 円)

## 支出状況

一般資金 112,887(千円) ※  
運用利息 11,058(千円) ※  
特定資金 202,503(千円)

### 特定資金の内訳

学生支援	19,106(千円)
留学生・国際交流支援	222(千円)
研究支援	6,260(千円)
社会貢献活動支援	4,746(千円)
卒業生・産業界等との連携支援	4,305(千円)
学部等支援	78,421(千円)
新渡戸カレッジ支援	5,318(千円)
修学支援基金	81,354(千円) ※
クラーク賞等支援	2,772(千円)
合計	202,503(千円)



※特定資金の修学支援基金81,354千円、一般資金のうち105,738千円、運用利息11,058千円を「緊急修学支援基金」として充当しました。

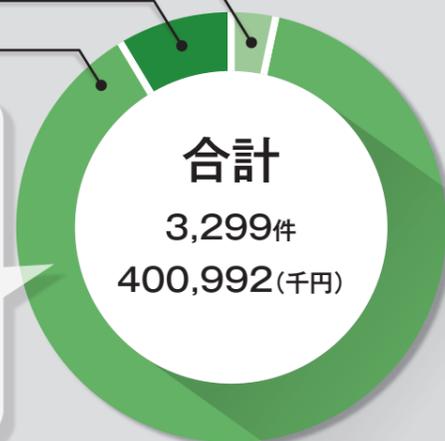
## 受入状況

### 寄附金額(令和2年度)

一般資金	308件	13,550(千円)
運用利息		33,897(千円)
特定資金	2,991件	353,546(千円)

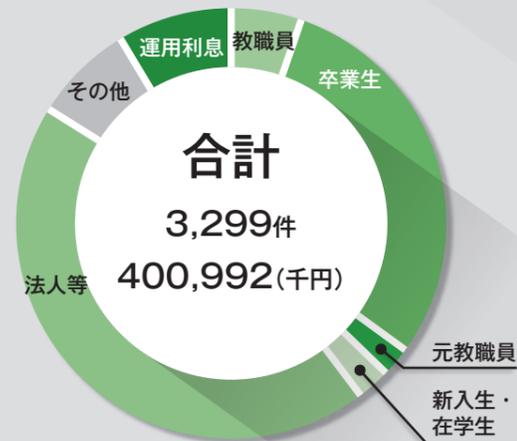
### 特定資金の内訳

学生支援	806件	79,426(千円)
留学生・国際交流支援	13件	2,730(千円)
研究支援	332件	18,840(千円)
社会貢献活動支援	67件	5,629(千円)
卒業生・産業界等との連携支援	2件	2,220(千円)
学部等支援	762件	178,788(千円)
施設・環境整備支援	24件	326(千円)
新渡戸カレッジ支援	63件	5,247(千円)
修学支援基金	922件	60,340(千円)
合計	2,991件	353,546(千円)

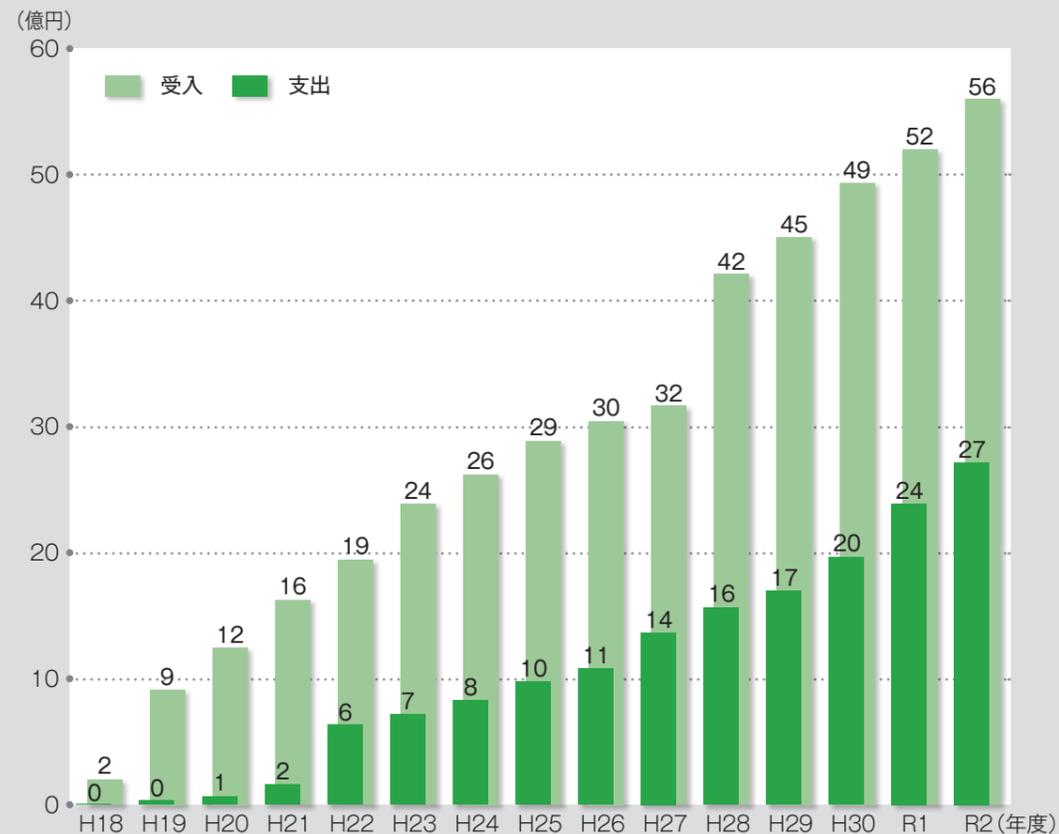


### 寄附者別内訳(令和2年度)

教職員	265件	21,339(千円)
卒業生	1,799件	119,482(千円)
元教職員	83件	8,889(千円)
新入生・在學生	416件	10,026(千円)
法人等	155件	177,692(千円)
その他	581件	29,668(千円)
運用利息		33,897(千円)



## 受入・支出累計額の推移



令和2年度末 残額 2,881,540,889円

※上記、受入・支出累計額には、運用利息を含みます。

## 寄附メニューのご案内

### ▶▶ 一般資金（使途を限定しないご寄附）

「一般資金」は、使途を特定せず、全学的かつ持続的な研究・教育環境の充実のための安定的な独自財源を確保することを目的としており、北大フロンティア基金による事業活動を行うための原資として、単独または本学の他の資金と併せて使用し、北大全学の発展に役立てます。

### ▶▶ 特定資金（使途を限定したご寄附）

「特定資金」は、グローバルな人材育成、学部・研究院単位の教育研究活動、多様な人材育成に必要な課外活動施設の整備、修学が困難な学生への修学支援など、特定の使途をもった事業にご寄附いただくものです。令和3年9月現在、下記のプロジェクトを実施しております。

#### ◆特定資金一覧

##### 学生支援事業

学部における学業成績優秀者等を対象とする「新渡戸賞」、研究者を目指す優秀な女子学生を対象とする「大塚賞」、英語等の成績優秀者等を対象とする「レーン記念賞」などの顕彰制度の更なる充実や、課外活動支援、学生福利厚生施設の充実を図ります。

- 令和2年12月、3つのプロジェクトが開始されました。
  - ・硬式野球部バックネット改修
  - ・馬術部支援
  - ・北大交響楽団100周年事業

##### 留学生・国際交流支援事業

本学では、国際的な教育・研究レベルを一層高めるために、人材や学術の国際交流にとりわけ力を入れていきます。今後ますます増加する留学生の奨学金制度の更なる充実や留学生宿舍の整備を図ります。また、世界各国の交流協定締結校との学生交流・学術交流の充実を図ります。また、疾病、不測の事態等に対する財政的支援を実施します。

##### 研究支援事業

本学では、研究者の自由な発想に基づき世界の課題解決のための研究が日夜行なわれています。しかし、地道な基礎研究にはなかなかスポットライトが当たらず、研究費の確保に苦労しています。本学では、そんな研究者の支援に基金を活用していきます。

また、男女共同参画を推進するとともに、多様な人材が活躍できるようダイバーシティ研究環境の充実を図ります。

##### 社会貢献活動支援

自然・文化・歴史・科学・技術に関する学術研究と教育成果の公開、更に地域活性化に貢献します。開かれた大学の使命として、学術研究と教育成果の公開促進、市民公開講座等の充実を図ります。例) 植物園・総合博物館の充実、図書館の充実、市民公開講座等の充実 等

##### 卒業生・産業界等との連携

卒業生同士の交流や新たな出会いの機会創出、北海道大学と卒業生との関係強化、北海道大学の教育研究環境を活用した産業界との連携強化を図ります。具体的には、北大卒業生向けインターネットサービス@Frontier（アットフロンティア）の提供、ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。産学との関係については、北海道大学の教育研究環境を活用し、より多くの企業等と共同で、いろいろな課題を解決するための実践的な研究・活動の強化を図ります。

##### 学部等支援事業

学部等支援では、ご支援いただける「学部（大学院）」や「学科（専攻）」または「研究室（講座）」を選ぶことが可能なご寄附です。みなさまからいただいたご寄附は、各学部・大学院等の教育研究の充実のための最新の教育機器や学術図書・雑誌等の充実整備を図ります。また、教育や研究に係る特定のプロジェクトを支援いたします。

- 医学部保健学科の設備改修プロジェクトが開始されました。

##### 施設・環境整備支援

本学は、昭和初期までサケが遡上していたというサクシュコトニ川が流れている中央ローンをはじめ、構内全体が樹木や芝生など緑に溢れた環境に配慮した、魅力あるキャンパスを有しております。また札幌農学校第2農場をはじめ古河講堂、旧昆虫学及び養蚕学教室等の歴史的建造物が多数あり、これらの自然環境や歴史的建築物を後世に伝える取組を積極的に行っております。

##### 新渡戸カレッジ支援事業

グローバル社会で活躍できるリーダーの育成を目指す特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」では、学部生を対象とした学部教育コースにおいて、本学の同窓生等をフェローに委嘱し、学生のキャリア教育に参画させるとともに海外留学や国際インターンシップ等を積極的に支援しております。また、大学院教育コースでは、全学をあげて、グローバル社会で活躍できる高度な専門知識と国際感覚を持った人材を育成しています。賜りましたご寄附は、国際交流や海外留学を積極的に支援するために活用させていただきます。

##### 修学支援基金

経済的な理由で、修学を諦める若者がいます。本学では、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう、皆様からの修学支援基金へのご支援をお願いしています。修学支援基金は税額控除の対象です。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援についても「修学支援基金」を活用させていただいております。

##### ポストドク等研究者支援事業

学生または不安定な雇用状態にある研究者（ポストドク等研究者）がいます。本学では、ポストドク等研究者が安心して研究を続けられるよう、皆様からのポストドク等研究者支援事業へのご支援をお願いしています。ポストドク等研究者支援事業は税額控除の対象です。

※ポストドク（ポストドクターの略）とは、博士課程を修了し、任期制の研究職に就き、大学等の研究機関で研究を行っている者を指します。

### ▶▶ 北大みらい投資プログラム

「北大みらい投資プログラム」は、同窓生の皆様を中心とする「個人からのご寄附」により、在学生の様々な活動をサポートすることを目的として、平成30年に北大フロンティア基金の中に創設されました。

使途は、同窓生の皆様に在学生のサポートをお願いしたい4つの分野「給付型奨学金」「海外留学・インターンシップ等経費」「課外活動等支援資金（公認学生団体等を指定）」「使途指定資金（支援先任意※）」で構成されております。

※支援先未記入の場合は「海外留学・インターンシップ等経費」にて受け入れさせていただきます。



### ▶▶ 北海道大学起業家育成基金

産学・地域協働推進機構では、アントレプレナー（起業家）教育を一層充実させるため、令和元年度「北海道大学起業家育成基金」を創設しました。

本基金へいただいたご寄附は、アントレプレナー教育の充実を図り、北大発ベンチャー支援のために使用します。産業界を中心として広く募集し、アントレプレナー教育・育成事業の充実やアントレプレナーに係る学生プロジェクト・大学発ベンチャー設立等スタートアップへの支援など、様々な支援を行い、イノベーションの創出を目指します。



### ▶▶ 特定プロジェクト

#### ◆継続中のプロジェクト

##### ●北大病院ゆめ募金

北大病院は、設立以来一貫して「良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献する」を理念として、地域の皆様や社会の要請に応えるため多様な医療を提供してきました。

昨今、求められる医療の内容はめまぐるしく変遷しておりますが、本院では、将来にわたり最先端の医療を提供し続けるとともに、将来の医療を支える人材を育成するため、引き続き、医療環境の充実を図ります。

※新型コロナウイルス対策について支援いただける場合は「北大病院新型コロナウイルス安全安心基金」をご選択ください。

##### ●北大工学部 鈴木章記念事業

本学名誉教授鈴木章先生（元工学部教授）がノーベル化学賞を受賞されたことを機に、これまで以上に国際競争力のある卓越した教育研究拠点となることを目指して、若手研究者や学生の研究活動への援助、学生の国際交流活動への援助、優秀な学部学生の表彰など本学工学部の国際化をより一層推進するための教育・研究環境の充実を図ります。

## ● 附属図書館

学生が自ら学ぶ力を伸ばすため、附属図書館の学術図書をより豊かにする基金へのご協力をお願いしております。学生の本分である「学び」には、学術図書が不可欠です。日々進展する学術、科学技術を習得し、フロンティア精神を育てるためには、豊富な学術図書を使って存分に学べる環境が必要です。整備した学術図書は附属図書館の蔵書となり、学生の学びを支える知識基盤として、今後も長く活用され続けます。

## ◆ 令和2年度新規プロジェクト

## ● 北の森林（もり）プロジェクト

北方生物圏フィールド科学センターでは、本学研究林（北の森林）を舞台として、森林の樹木や動植物、それを取りまく環境・地域社会について幅広い教育・研究活動を行っています。

その中で、森林が持つ環境保全のはたらきや、資源の有効活用など、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の多くの目標に貢献することを目的に、森林の再生、二酸化炭素の吸収、生物多様性・生態系の保全活動をする「北の森林（もり）プロジェクト」を創設しました。本学が進める森林の教育・研究活動にお力添えいただきまますようお願い申し上げます。

## ● 北大病院新型コロナウイルス安全安心基金

日頃より、北大病院を温かくご支援いただいておりますこと、感謝申し上げます。現在、本院においては、新型コロナウイルス感染症対策、がんや難病の診療を含む地域の医療機能維持のため、まさに不眠不休の努力を行っております。

このような中、患者の皆様が安心して本院で診療を受けられるよう、また、本院の医療従事者が安心して診療にあたるよう、新型コロナウイルス感染症対策に特化した基金を設立することとしました。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 令和3年度新規プロジェクト（令和3年9月時点）

## ● 北海道大学理学部創立100周年記念事業基金

昭和5（1930）年に開学した本学理学部は、令和12（2030）年に創立100周年を迎えます。そこで、基礎科学の普遍的な価値を次の世代に継承し深化させることを目的とした「北海道大学理学部創立100周年記念事業基金」を設けました。理学部で学ぶ学生の学習環境を整備し、若手研究者のキャリア形成、および未来の人財育成の場を広げる機会を設けるなど、さらに100年先を見据えた多彩な取り組みを行います。令和12（2030）年9月27日（創立100周年記念日）までの募金目標金額は5,000万円です。ご支援ご協力を何とぞお願い申し上げます。

## ● 環境工学・衛生工学教育基金

本学工学部環境工学コースは、昭和32年に日本初の環境工学を教育研究する学科である衛生工学科として開設以来、国内外の衛生・環境問題の解決と改善に貢献する約3,000名もの人材を輩出してきました。今後も環境工学教育研究の重要性が高まる中で、次代を担う若い世代の人材育成を継続的に行うことが急務となっています。このため、学部1年次から環境工学コースに所属し環境工学を学ぶ新入試制度を導入し、この入試制度で入学した学生への奨学金給付を始めることになりました。さらに、学部教育用設備の更新や博士後期課程に進学する学生への経済的支援にも着手しました。つきましては、この趣旨にご理解いただき、ご賛同いただける皆様におかれましてはご支援・ご協力を賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。

## 寄附申込方法

## ≫ 郵便振替・銀行振込によるご寄附

個人 法人・団体

北大フロンティア基金の「払込取扱票（振込通知書）」をご利用ください。

## ● ゆうちょ銀行・郵便局（口座振替・現金による払込）

口座振替・現金による「払込手数料」は、本学が負担いたしますが、ゆうちょ銀行の料金改定により、令和4年1月17日以降、現金による払込の場合に限り本学が負担する払込手数料とは別に、現金利用時の加算料金として、1件あたり110円が寄附者様のご負担となります。詳しくは、ゆうちょ銀行・郵便局窓口でご確認ください。

なお、口座振替の場合は、従来通りで変更はありません。

## ● 銀行振込

銀行窓口をご利用の場合は、振込金額とは別に振込手数料を寄附者様にご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

北洋銀行・北海道銀行の窓口をご利用の場合は、振込金額に関わらず振込手数料として、1件あたり110円を寄附者様にご負担いただきます。

なお、現金自動預金払機（ATM）やネットバンキングをご利用の場合は、寄附者様の特定が困難となりますので、できる限り金融機関の窓口をご利用いただくか、お手続き前に、北大フロンティア基金ホームページ掲出の「寄附申込書」にご記載の上、メール、FAXまたは郵送でお送りください。

## ≫ クレジットカード決済によるご寄附

個人 法人・団体

クレジットカード決済でお申しいただいた場合は、ご指定のカードにて自動引き落としをさせていただきます。寄附回数は、「毎月」「年2回」「年1回」「1回限り」から選択いただくことができます。

## ≫ コンビニ決済によるご寄附

個人 法人・団体

コンビニ決済でお申しいただいた場合は、後日、決済代行業者より、コンビニエンスストア収納用のバーコード付払込取扱票を送付いたします。お手元に届きましたら、お近くのコンビニエンスストアに払込取扱票をご持参いただき、現金にてお支払い下さい。

## ≫ 銀行口座振替によるご寄附

個人

北大フロンティア基金ホームページより、「北大フロンティア基金寄附申込書（預金口座振替依頼書）」をダウンロードいただき、必要事項をご記載の上、郵送でお送りください。金融機関の預金口座をご指定いただくことにより、継続的なご寄附（定期自動引き落とし）をお申込みいただけます。寄附回数は、「毎月」「年2回」「年1回」から選択いただくことができます。なお、1回限りのご寄附はできませんのでご注意ください。

## ◆ 北大フロンティア基金寄附申込ページはこちらから

個人の方



法人・団体の方



## 税制上の優遇措置

### 個人からのご寄附

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金（所得税法第78条第2項第2号）として財務大臣から指定されております。

#### ①所得税が控除されます。

寄附金額（その年の総所得金額の40%を上限）から2,000円を引いた額を、所得税の課税所得金額から控除できます。

「修学支援基金」及び「ポストク等研究者支援」にご寄附の場合は、上記の「所得控除」または「税額控除」いずれか一方の有利な制度をご選択いただけます。

#### 税控除のしくみ

##### 所得控除制度（北海道大学へのすべての寄附金が対象）

所得控除を行ったあとに所得税率を乗じるため、所得金額に対して寄附金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

$$(\text{寄附金額}_{\text{①}} - 2,000 \text{円}) \times (\text{所得に応じた}) \text{税率} \rightarrow \text{所得税額から控除}$$

##### 税額控除制度（「修学支援基金」及び「ポストク等研究者支援」への寄附金が対象）

所得税率に関係なく所得税額から直接寄附金額の一定割合が控除されるため、多くの場合、所得控除制度に対して減税効果が大きくなります。

$$(\text{寄附金額}_{\text{①}} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{控除対象額}_{\text{②}} \rightarrow \text{所得税額から控除}$$

- ▶ ※1 控除対象となる寄附金額は、その年の総所得等の40%が上限となります。
- ▶ ※2 所得税の控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。



寄附金控除シミュレーション

#### ②住民税が控除されます。

寄附をした翌年1月1日に本学を「寄附金税額控除対象法人等」として指定している地方自治体にお住まいの方は、寄附金額（その年の総所得金額の30%を上限）から2,000円を引いた額に対し、都道府県住民税は4%、市区町村民税は6%を乗じた額が控除されます。（都道府県と市区町村双方の指定を受ける場合は10%となります。）

#### ●寄附金控除を受けるための手続き等について

寄附金控除を受けるためには、所轄の税務署へ所得税の確定申告書を提出してください。

この場合、住民税の申告は不要です。確定申告をしない給与所得者又は年金所得者で、住民税の寄附金税額控除だけを受けようとする場合は、住所地の市区町村に申告してください。この場合、所得税の控除は受けられません。

### 法人によるご寄附（法人税の優遇）

「北大フロンティア基金」へのご寄附については、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されております。ご寄附をいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

## 顕彰制度・謝意のご報告

### 紺綬褒章の伝達を行ないました。

紺綬褒章とは、公益のために私財（個人の場合500万円以上、法人の場合1,000万円以上）を寄附した方を対象に、表彰されるべき事績の生じた都府、各府省等の推薦に基づき審査され、授与されるものです。国、地方公共団体又は公益団体（公益を目的とし、法人格を有し、公益の増進に著しく寄与する事業を行う団体であって、当該団体に関係の深い府省等の申請に基づき賞勲局が認定した団体）に対する寄附が授与の対象となります。本学でも、令和2年度は個人2名、法人1団体の授与が閣議決定され、褒章・褒状を総長より伝達いたしました。

### 寄附者銘板への掲出

北大フロンティア基金では、累計20万円以上のご寄附をいただきました個人・法人の方のうち、ご希望いただいた方のご芳名を刻印した銘板を、本学総合博物館（令和2年度以前にご寄附の方）および百年記念会館（令和3年度以降にご寄附の方）に掲出させていただいております。令和2年度末までにご寄附頂きました方々の銘板は、累計1,913枚となりました。

### NEWS LETTERを送付いたしました。

例年行っておりました寄附者懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当面、開催を見合わせる事となりました。本来お招きすべき寄附者の皆様へ本学の現状を知っていただくため、令和元年6月から令和2年5月までの期間内に累計20万円以上ご寄附頂いた方を対象に、本学の近況をお知らせする「NEWSLETTER」と北大オリジナルグッズを送付いたしました。

## お知らせ

### 北大フロンティア基金の事務室・寄附者銘板が移転しました

令和3年度より、北大フロンティア基金事務室は「卒業生・基金室」と名称を変え、百年記念会館へ移転いたしました。百年記念会館は「北海道大学創基100周年事業」の一環として建てられた建物で、本学ゆかりの写真や歴史資料が展示されております。併せて寄附者銘板についても、同館に移転し、20万円以上累計のご寄附を賜りました方のご芳名を2階ロビー壁面に掲出させていただいております。

卒業生・基金室は3階にあり、校友会エルムと同フロアにございますので、同窓生の皆様にもお気軽にお立ち寄りいただけるようになりました。基金に関するリーフレット・振込用紙をお持ち帰りいただけるほか、基金に関するご相談も承っております。

※個別のご相談をご希望の場合には、事前にお電話にてご連絡ください。



### 三井住友信託銀行との寄付信託制度がスタートしました

寄附方法に対するニーズの多様化を踏まえ、北大フロンティア基金は三井住友信託銀行株式会社が令和3年4月から開始した、「医療支援寄付信託」のメニューの一つとして参画いたしました。この寄附信託は、寄附者が、13の参加大学の中から具体的な研究・活動を比較検討して寄付先を選択いただき、三井住友信託銀行に信託をお申込みいただくもので、三井住友信託銀行は、お預かりしたご資金を5年間にわたって指定した大学へ分割して寄付するものです。北大フロンティア基金をご選択いただいた場合、「北大病院ゆめ募金」へのご寄附として、①患者さん本位で安心・安全な医療の提供、②人間性豊かで有能な医療人の育成、③先進的な医療の開発と提供、④地域医療への貢献の目的達成のため有効に活用させていただきます。

### 北海道大学創基150周年事業がスタートします

北海道大学の起源は、明治9（1876）年、日本で最初に学士の学位を授与する近代的大学として設立された札幌農学校に遡り、令和8（2026）年には創基150年を迎えます。この重要な節目を迎えるに当たり行われる様々な事業や、未来に向けて北海道大学が世界へ発信し続ける大学であるための原資として、皆様からのご寄附を募集する予定です。

何卒、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 遺贈について

遺贈とは、遺言によって所有されている資産を特定の人々に分けることをいいます。遺言は、民法で定める法定相続に優先しますので、具体的に遺言の受取人を指定することにより、希望どおりの配分が可能となります。この遺言による方法で、財産の一部の受取人として北海道大学を指定することができます（ただし、一定の相続人に必ず残さなければならない「遺留分」の制約がありますのでご注意ください）。この場合、遺贈による北海道大学への寄附財産の相続税は、非課税財産となります。

北海道大学では、下記の銀行・信託銀行と協定を結んでいますので、お気軽にご相談ください。記載されている各銀行・信託銀行本支店に直接お問合せいただく際には、北大フロンティア基金のホームページをご覧ください。

このほか、遺贈によるお問い合わせは「卒業生・基金室」までご相談ください。

協定を結んでいる銀行、信託銀行 ●三井住友銀行 ●三井住友信託銀行 ●三菱UFJ信託銀行

## ≫ 表紙写真について（医学部百年記念館）

本学医学部の創立 100 周年を記念し、医学部百年記念館が北大フロンティア基金へのご寄附により建設されました。

本計画は長年美しく保たれてきた本学札幌キャンパスへの配慮から、サステナブルキャンパスマネジメント本部の助言を受け、工学研究院建築都市空間デザイン部門建築デザイン学研究室、都市地域デザイン学研究室の教員と大学院生がデザインの検討を行いました。

医学部百年記念館には、次の 100 年の医学発展へのプラットフォームとしての役割を果たすと共に、将来にわたってキャンパスの魅力を高める新たなランドマークとなって欲しいとの願いが込められています。



## ≫ 問い合わせ先

### ● 北海道大学総務企画部広報課 卒業生・基金室

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学百年記念会館内

**TEL** 011-706-2017 **FAX** 011-706-2010

**E-mail** kikin@jimu.hokudai.ac.jp

**Web** <http://www.hokudai.ac.jp/fund/>

### ● 北海道大学東京オフィス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サビアタワー 10階  
北海道大学東京オフィス

**TEL/FAX** 03-3211-2055

